


目次の使い方

マウスポインタをタイトルに合わせると、矢印から指のマークに変わります。その状態でクリックしてください。

目次ページから探す

目次のタイトルをクリックすると、そのページへジャンプします。

■CONTENTS	
社長メッセージ	05
副社長・専務メッセージ	09
[第1章]	
NAAグループの価値創造	
At a Glance	13
開港からの歩み	15
積み重ねてきた実績	17
成田空港の価値創造の基盤	19
成田空港の価値創造をともにするステークホルダー	21
価値創造プロセス	23
ESG視点と重点課題	25
[第2章]	
NAAグループが目指す未来	
長期ビジョン	29
第2の開港プロジェクト	31
ステークホルダーと目指す未来	33
サステナビリティ経営	35
外部環境分析	37
[第3章]	
目指す未来の実現に向けた中長期的な成長戦略	
前中期経営計画の振り返り	41
新中期経営計画「Gear Up NRT」	43
空港の機能強化	45
安全	47
セキュリティ	49
デジタル変革	51
旅客体験価値	53
環境・地域共生	55
空港スタッフ	57
人的資本	59
財務戦略	61
イノベーション	63
[第4章]	
事業別概況	
事業概況と事業ポートフォリオ	67
空港運営事業	69
リテール事業	71
施設貸付事業	73
鉄道事業	74
[第5章]	
コーポレート・ガバナンス	
コーポレート・ガバナンス体制	77
社外取締役メッセージ	79
監査役会議長メッセージ	81
国と一体となった多角的なガバナンス体制	82
公正な取引	83
リスク管理	85
コンプライアンス	87
役員一覧	88
[第6章]	
コーポレートデータ	
2024年度 実績ハイライト	91
主要非財務データ	92
主要財務データ	93
ESG関連データ	95
会社情報	97
ステークホルダー対話実績	98

■「統合報告書2025」の発行にあたって

成田国際空港株式会社の「統合報告書」は、成田国際空港の価値創造のストーリーについて、幅広いステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。成田国際空港が、過去から現在、そして未来に向かって、地域とともに歩み、安全・安心を最優先に世界各国とネットワークを結び、重要な社会インフラとしての役割を果たしながら地域・社会へ新たな価値を提供し続けていることを、本報告書を通じてご理解いただけるよう編集しています。

【編集方針】

作成にあたっては、IFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省の「価値創造のための統合的開示・対話ガイダンス」、空港管理者の国際団体である国際空港評議会 (Airports Council International(ACI)) が策定した「ESG Reporting Framework and Guidance for Airports」などを参照しました。

【報告対象期間】

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)を主な対象期間としています。一部に、2025年4月以降の活動内容を含んで記載しています。

【用語解説】

本報告書の中で、「NAA」「当社」は成田国際空港株式会社を指し、「成田国際空港」「成田空港」「空港」とした場合は、そこで活動する関連事業者も含めた空港全体を指しています。

【編集体制】

統合報告書2025の編集体制として、NAA各部門の社員で構成される「統合報告書編集委員会」を設立しました。社内横断的に議論を重ねることで、NAAの考え方や取り組みを総合的・多角的な視点でとりまとめています。

【デザインコンセプト】

新しい成田空港へ。その先にある、未来の空へ。

本報告書では「空を飛び飛行機の軌跡」をモチーフに、空港、人、地域、そして自然環境——すべてのステークホルダーが一体となり、未来へ向かって進む姿を描いています。「未来の空」という言葉には、単なる空港の物理的な広がりだけでなく、そこから生まれる可能性、そしてステークホルダーの皆様とともに創造していく未来への希望を込めました。空の旅を超えて地域とともに歩む「新しい成田空港」の姿、未来志向のデザインで表現しています。

統合報告書2024との違い

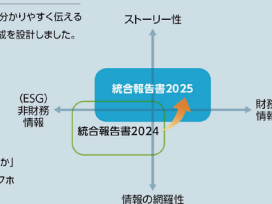
統合報告書2025では、NAAグループ・成田空港の価値創造のストーリーをより分かりやすくお伝えるために、「編集方針」にて記載の各種フレームワーク・ガイダンスをもとに全体構成を設計しました。

【2024年度版】

ESGの枠組みで、取り組みの記載を中心とした情報開示


【2025年度版】

「NAAグループ・成田空港がどのようにして長期的に価値を生み出していくのか」を、「社会インフラとしての役割・使命、価値創造の源泉となる経営資本、ステークホルダーとの関係性」といった視点でナラティブに語る情報開示





章扉ページの使い方

マウスポインタをタイトルに合わせると、矢印から指のマークに変わります。その状態でクリックしてください。



章の扉(中表紙)へ移動する

各章のタイトルをクリックすると、その章の始まりのページへジャンプします。

詳細な内容を確認する

各コンテンツのタイトルをクリックすると、そのページへジャンプします。

[第1章]

NAAグループの 価値創造

成田空港が開港してから今日に至るまで、社会インフラとしての使命を胸に、どのように歩みを重ねてきたのかをご紹介します。

At a Glance	13
開港からの歩み	15
積み重ねてきた実績	17
成田空港の価値創造の基盤	19
成田空港の価値創造をともにするステークホルダー	21
価値創造プロセス	23
ESG視点と重点課題	25

詳細ページの使い方

マウスポインタをタイトルや二次元コードに合わせて、矢印から指のマーク に変わります。その状態でクリックしてください。

目指す未来の実現に向けた中長期的な成長戦略

環境・地域共生

想い・考え

成田空港の発達は、地域・社会からの深い理解とご協力によって支えられています。大規模な内陸空港である成田空港において、建設や運用に伴う周辺地域への影響を軽減していくことは、NAAグループにとって重要な責務です。社会課題である気候変動への対応のほか、特に影響の大きい航空機騒音への対策や、大気質や水質、生物多様性の保全に努めるなど、環境対策・地域共生策を徹底してまいります。

加えて、地域との連携をいっそう強化し、「エアポートシティ構想」の具体化をはじめ、空港圏全体の持続可能な発展に向けた取り組みを積極的に推進してまいります。

NAAは、「空港づくりは地域づくり」という考えのもと、地域と空港の持続的な共生・共栄を目指すとともに、地域と空港の協働により新たな価値を生み出しています。

【前中計(2022-24)での主な取り組み・実績】

- 気候変動への取り組み：NAAグループが排出するCO₂の削減 (Scope 1, 2) 2015年度比21.7%削減(122,485t/年) ※2022年度実績
 空港全体から排出されるCO₂の削減 (Scope 3) 2015年度比14.1%削減(4,324t/年) ※2022年度実績
- 資源循環への取り組み：「更なる機能強化」に伴い発生した廃材の活用
- 周辺環境への取り組み：「更なる機能強化」に伴う防音工事の推進。防音工事累計対応件数 3,747件 (2024年度末時点)
 大気質・水質の保全・継続的な大気質・水質への影響の監視
- 地域との連携：エアポートシティの推進に向けて、「(NRTナリタ)エアロデザインセンター」を開設

【中計(Gear Up NRT)における関連する非財務目標】

共生・共栄とエアポートシティ形成に向けた地域との連携

- 気候変動への取り組み：NAAグループが排出するCO₂削減率50%削減 (2015年度比)
- 資源循環への取り組み：NAAグループが排出するCO₂削減率50%削減 (2015年度比)
- 環境への取り組み：成田空港全体から排出される発煙回数1回あたりCO₂排出量30%削減 (2015年度比)

方針・推進体制

- 取り組みの柱
 - 成田空港では、「サステナブルNRT2050」において「気候変動への取り組み」「周辺環境への取り組み」「資源循環への取り組み」「環境マネジメント」を取り組みの柱として、環境負荷低減策を推進しています。
- NRTエアロデザインセンター
 - 2025年4月、千葉県NAAは、エアポートシティ構想の実現に向けて、「NRTエアロデザインセンター(NADC)」を開設しました。NADCは、「成田空港第2の空港プロジェクト」による効果を、空港のみならず周辺地域にも最大限波及させることを目的としています。
 - NADCは、関係者間の「結節点」として、エア全体での価値向上に向け、対外調整・協力促進やマッチング支援などを実施しています。

取り組みの柱

【気候変動への取り組み】

NAAグループ及び成田空港全体について、CO₂排出量削減に関する中長期目標の達成に向け、着実に取り組みを進めています。具体的には、SAFの導入促進、電気自動車等の導入、LED照明の採用、旅客ターミナルなどの省エネルギーの実施、太陽光発電設備の導入などを推進しています。

[詳細はP.35-36をご覧ください](#)

【環境マネジメント】

多様なステークホルダーとの積極的な連携を通じて、環境負荷低減策を推進する体制を整えています。空港除雪機や清掃機などで構成する「サステナブルNRT推進隊」を推進し、協働による取り組みを進めるとともに、AGCの空港カーボン認証プログラムに参加し、廃材の活用に向けたCO₂削減目標達成に向けた取り組みを進めています。

[詳細はP.35-36をご覧ください](#)

【資源循環への取り組み】

サステナブルな空港として事業を継続するための重要な課題として、廃棄物の有効活用に取り組んでいます。

NAA事務所や空港全体における一般廃棄物の分別リサイクルの実施はもちらんのこと。建設廃材の発生抑制と有効活用、「更なる機能強化」に伴い発生した廃材の活用にも取り組んでいます。

[詳細はこちらをご覧ください](#)

【第1章】価値創造 / 【第2章】目指す未来 / **【第3章】中長期的な成長戦略** / 【第4章】事業別概況 / 【第5章】コーポレート・ガバナンス / 【第6章】コーポレートデータ

前中長期経営計画の振り返り / 前中長期経営計画「Gear Up NRT」 / 空港の成長進化 / 安全 / セキュリティ

デジタル改革 / 旅客体験価値 / 環境・地域共生 / 空港スタッフ / 人的資本 / 財務戦略 / イノベーション

PICK UP!

周辺環境への取り組み

大規模な内陸空港である成田空港は、周辺環境に對するさまざまな取り組みを継続して実施しています。

【騒音対策】

- 航空機の騒音測定
 - 測年測定

航空機の騒音レベルを把握するため、成田空港では1978年の閉港当初から騒音を測定しています。現在NAAは、空港周辺の33カ所に航空機騒音測定員を設置して測年測定を実施しています。2024年度は、各測年測定の航空機騒音評価指標Ldenの年間値は、前年値に引き続きいずれも騒音法に基づく区域指定の基準を下回りました。

また、上記測定のほか、千葉県が23島、茨城県が10島、千葉県が57島(2024年度)を設置してあり、空港周辺では合計103島による騒音測定が常時行われています。NAAの33測年測定の設置場所と測定したデータについては、NAAの環境情報公開サイト「成田空港環境ごみについて」にてリアルタイムでご覧いただけます。
 - 短期測定

NAAは、騒音法に基づく騒音区域指定の検証を目的として、短期測定を実施しています。夏季と冬季(一部、春季と秋季)に実施した7回測定の結果を公表しています。2024年度は、すべての短期測定地点において、Ldenの短期測定値が騒音法に基づく区域指定の基準内でした。
- 大気質・水質保全

成田空港では、航空機の運航や空港の諸活動により排出される物質が空港周辺の大気質に与える影響を把握するため、監視を行うとともに、航空機や空母内を走行する車両、中央空調房所などにおける大気汚染物質の排出抑制に取り組んでいます。

また、空港から排出される雨水排水などが、空港周辺地域の河川に与える影響を把握するため、水質監視を行っています。雨水分留施設^{※1}や雨水池^{※2}、水処理施設の設置・適正な運用を通じて、水質を保全するためのさまざまな取り組みを行っています。

※1 雨水分留施設：雨水に含まれる油分を分離・除去する施設。航空機タンクアードなどで油分が混入した雨水に使用します。
 ※2 雨水池：A滑走路の西側に設置された、雨水を一時的に貯めておく施設。容量は55万立方メートル、集水された雨水はそこから雨水排水池へ排出されます。

【生物多様性の保全】

- 自然共生サイトへの登録

NAAが所有する騒音対策用施設を活用し、体験型自然公園として管理している「グリーンポートエコアグリパーク」が、環境省が2023年から認定を開始した「自然共生サイト」に認定されました。

自然共生サイトとは、民間の取り組みによって生物多様性の保全が図られている区域を認定し、国際データベースに登録することで、国が取り組むネイチャーポジティブ(=生物多様性の損失を食い止め、回復させる)という目標に寄与するものです。NAAでは、引き続き生物多様性の価値の維持や質の向上に努めています。

SORATO NRT(ソラト ナリタ)エアロシティ構想

NRTエアロデザインセンター(NADC)は、2025年6月にエアロシティ構想を公表し、2026年1月に本構想の名称を「SORATO NRTエアロシティ構想」として発表しました。

本構想は、「成田空港第2の空港プロジェクト」が本格化する中、周辺地域と空港が一体となり持続的に発展していくための未来の道筋を示すものです。「霞も輝き、世界とまじり合う「フラッグシップ・エアロシティ」というビジョンを掲げ、その実現に向けては、「産業イノベーション」「ウェルビーイング」「交通・モビリティ」「ダイバーシティ」「サステナビリティ」の4つの視点から取り組みを進めてまいります。

また、空港周辺を機軸として編成するゾーニングを通じ、地域の多様な魅力とポテンシャルを引き出し、ながら、将来の成長を支える空港都市づくりを推進します。

[詳細はこちらをご覧ください](#)

章の扉(中表紙)へ移動する

各章のタイトルをクリックすると、その章の始まりのページへジャンプします。

詳細な内容を確認する

各コンテンツのタイトルをクリックすると、そのページへジャンプします。

二次元コードからWebサイトを開く

誌面にある二次元コードは、スマホで読み取るだけでなく、クリックしてブラウザで外部サイトを表示することができます。 ※ブラウザの「戻るボタン(←)」を押すと、元のPDFページに戻ることができます。

関連するコンテンツへ移動する

「詳細はこちら」などのボタンにマウスを合わせ、指のマーク に変わったらクリックしてください。そのページへジャンプします。